



誰一人取り残さない地域社会の創造
～障がいのある人の人権～
事例発表

一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会
常務理事・事務局長 深宮 しのぶ

■本日お話しすること

- ・私の自己紹介
- ・息子について
- ・育成会の活動について
- ・投票支援について
- ・育成会合同墓「共に」ができるまで
- ・育成会が抱える課題

■私の自己紹介

- ・ 育成会に入会したのは平成17年
(息子、10歳の時)
- ・ 育成会役員歴：広報部を経て、北・東支部支部長
- ・ その後、平成26年4月より事務局に入局
- ・ 令和3年10月事務局長就任
- ・ 令和4年6月常務理事就任

■息子について

- ・現在29歳

3歳の時に知的障がいを伴う自閉症

との診断を受ける

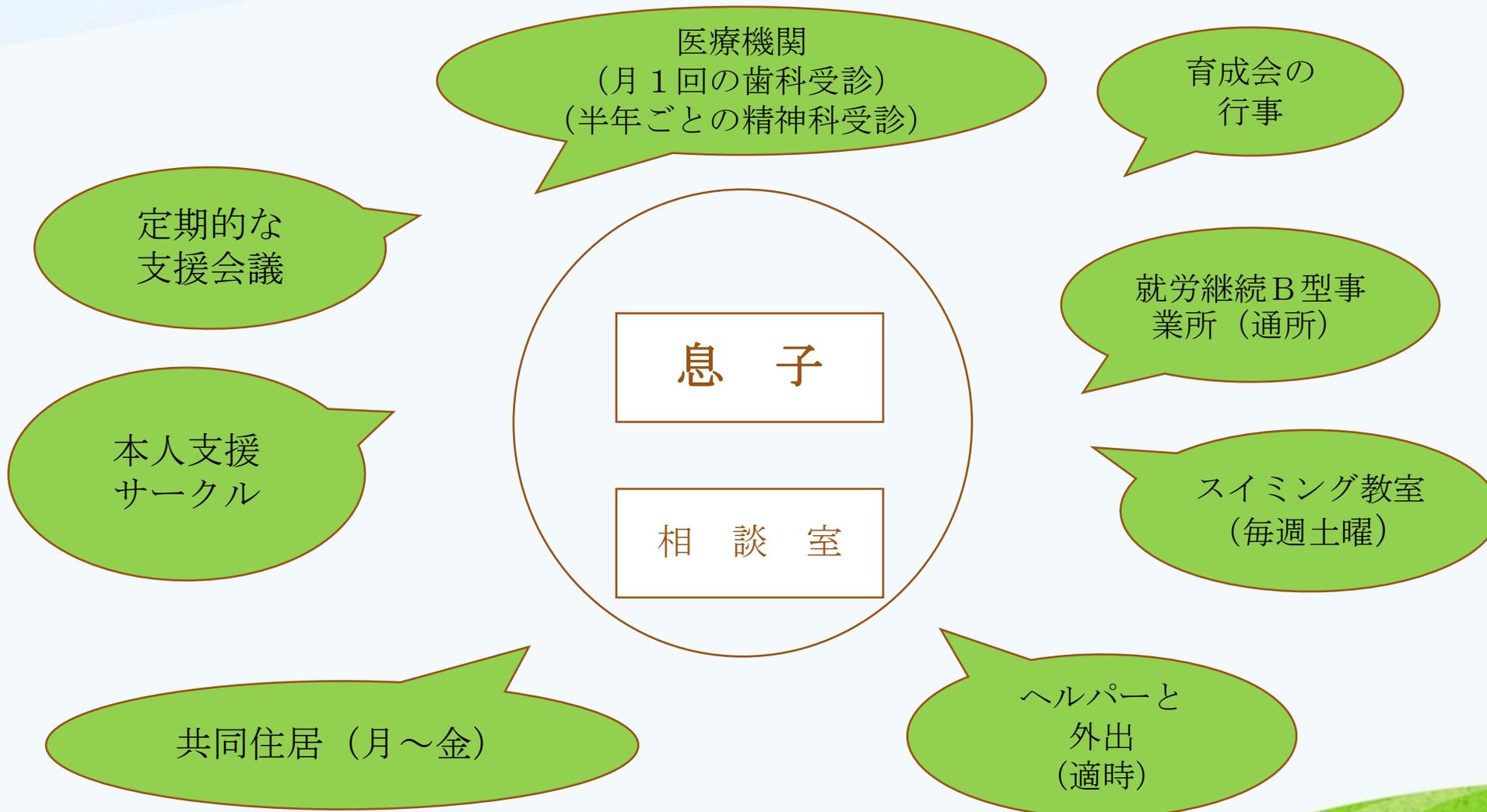
療育手帳：B 精神年齢は7歳程度

- ・小・中学校と支援学級で過ごす

北海道新篠津高等養護学校へ進学し

3年間寄宿舎生活を送る

息子を取り巻く環境





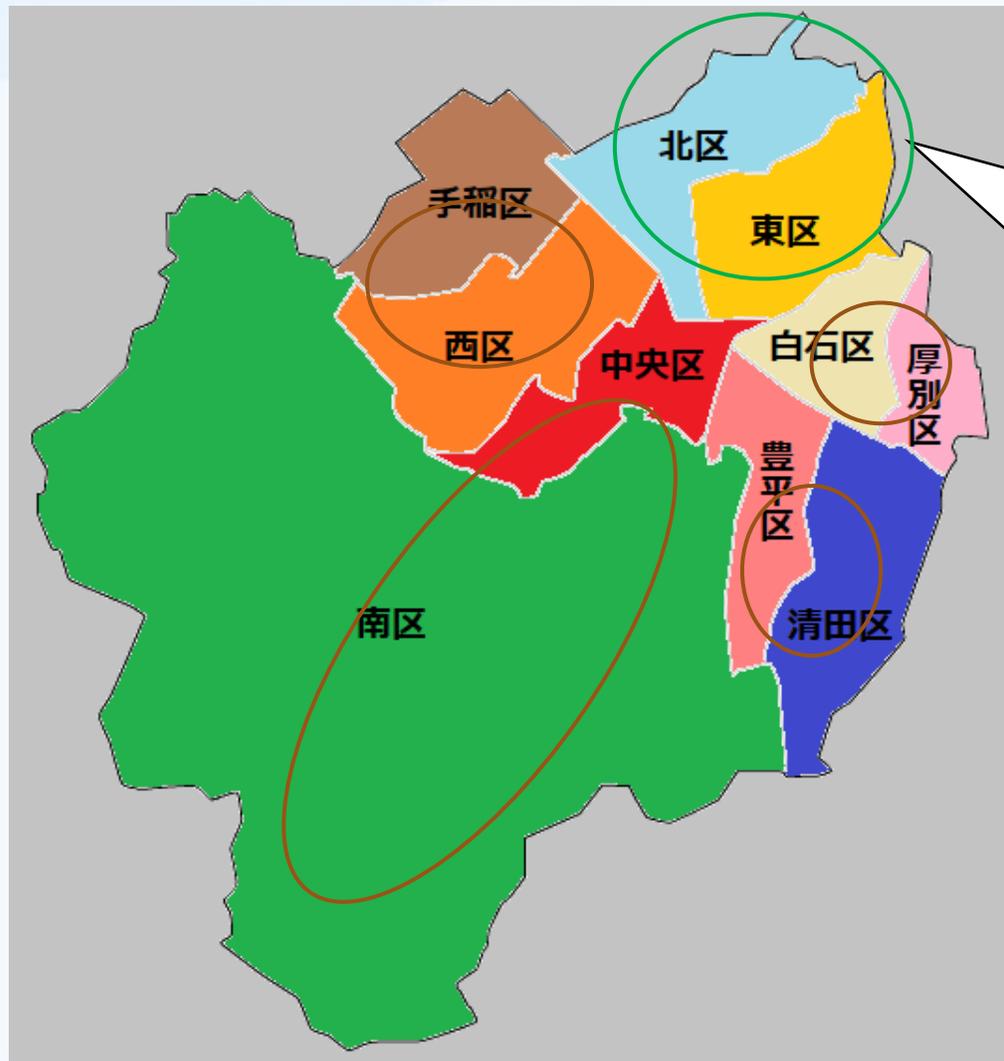
育成会の活動について



60年前の、わが子のしあわせを願う
3人のお母さんの呼びかけが、今、全国に
約30万人の会員がいる「手をつなぐ育成会」を作りました。

知的に障がいのあるわが子たちが
地域で普通に「ともに生きる」ことができる社会に…。
同じ思いを持つ方々の入会を私たちはいつでもお待ちしております。

■支部について



隣同士の区の
会員を束ねて
5支部を構成して
います



地域活動部

地域連携 親睦交流

本人及び家族の支援の充実

地域サロン 本人向けサークル

会員交流事業 研修会などの開催



広報部

会報 はげみの発行

育成会活動に関する発信を行う



福祉施策推進部

福祉の充実を目標として
各機関との意見交換や情報提供
せんきよを学ぶ会や災害時の避難
体験会などを開催



教育施策推進部

札幌近郊 高等養護学校・支援学校

見学会の開催

特別支援教育に関する情報提供や
情報収集

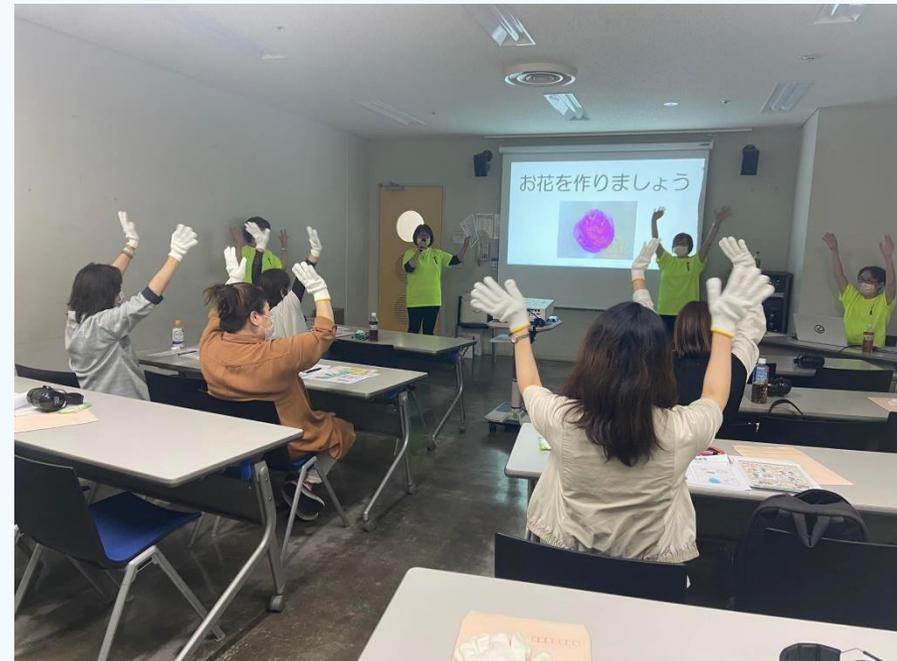
各機関との意見交換会を実施

■ 知的相談員について

- ・ 札幌市から委嘱を受け、各区に2名ずつ相談員を配置
(手稲区・厚別区は1名)

⇒ 各区の自立支援協議会やネットワーク部会に参加

知的障がい・発達障がい理解啓発隊



障がい者雇用について



育成会が運営する障がい者雇用事業所①

駒岡資源選別センター



- ・職員(就労支援員) 5名
- ・職員(パート就労支援員) 4名
- ・障がい者従業員 37名

育成会が運営する障がい者雇用事業所②

中沼雑がみ選別センター



- ・職員(就労支援員) 2名
- ・障がい者従業員 13名

育成会が運営する障がい者雇用事業所③

雇用型作業所リンクル



- ・職員(就労支援員) 1名
- ・障がい者従業員 9名

育成会が運営する障がい者雇用事業所④

元気ショップいこ～る



- ・職員(就労支援員) 2名
- ・職員(パート販売員) 6名
- ・障がい者従業員 2名

投票支援について



■せんきよを学ぶ会を始めたきっかけは

2013年の成年被後見人の選挙権回復報道を見て

息子は選挙に行けるのだろうか？？
投票はできるのだろうか？？

当時、我が家の息子は18歳。
療育手帳Bで、精神年齢が7歳の息子に「選挙」「投票」は
きつと理解するのが難しいなあ…(;^ω^)とっていた。

■目からウロコ！

その年の秋頃、全国手をつなぐ育成会連合会広報誌「手をつなぐ」
に掲載されていた

障がい者に模擬投票を実施した狛江市の取組みを見て、これだ！

■沸々と込み上げる思い

「体験投票」をすれば…

息子も選挙に

行けるのでは！？

■いいと思ったら、即、行動

5人の支部長で構成される支部長会議の中で
「手をつなぐ」の記事を紹介し、札幌でも
この取り組みをやりたい！と直訴したところ

⇒それ、いいね！と賛同を得る(*^▽^*)

■思い立ったら、即、突撃

いてもたってもいられず、記事を書いた
「狛江市福祉保健部 平林浩一さん」に

- ・是非札幌でも開催したい
- ・当日までどのように進めたのか
- ・当日はどのように行ったのか

とメールを送る⇒即、返信が！その後のやり取りで様々な
資料の提供を受ける

■次は札幌市選挙管理委員会へ

狛江市の取組みを伝え、札幌でも模擬投票を行いたいと協力を依頼したところ、快諾！！

⇒平成26年5月23日と8月20日の2回模擬投票
実施に向け綿密な打合せを行いました

■満を持して… 第1回せんきよを学ぶ会 開催！

【日 時】平成26年9月7日（日）

【場 所】北海道立道民活動センター「かでの2.7」

【参加者】障がい者19名

※市選管の方で記載台や投票箱等を用意し、名簿係や投票立会人を配置するなど本番さながらの投票所を再現

■平成27年度「せんきよを学ぶ会」 ホームページ報告より

代理投票では受付後、保護者は関わることはできません。

丁寧に誘導していただけてますが、やはり意思表示の方法など事前にお伝えすることは多々あるな…と感じました。

この思いが
「選挙支援カード」が生まれるきっかけ
となりました！

■試作から現在の「選挙支援カード」へ

育成会で試作中の「選挙支援カード」をよりシンプルに

使いやすくした現在の形に近いものが市選管より提案があった

⇒その後育成会・本人会からの意見により修正したものが

現在の「選挙支援カード」となる

■ 「選挙支援カード」の導入決定！

- 平成31年春に実施される統一地方選挙から
「選挙支援カード」が導入されることが正式に決定
⇒道新の記事を見てびっくりした記憶が…(笑)
- それに先駆けて、平成30年度「せんきよを学ぶ会」にて
「選挙支援カード」を使い、模擬投票体験を行う

■恩人との再会、リアルでは初対面(笑)

「選挙支援カード」のことで共同通信の取材を受けたご縁で、平林さんとまた繋がることができました！

⇒狛江市の**副市長**になっててびっくり(°Д°)！！

⇒とんとん拍子に話が進み、一昨年11月16日（水）来札いただき
研修会を開催しました！

■平林副市長に背中を押されて

昨年4月9日（日）に行われた統一地方選の中の
市長選にて

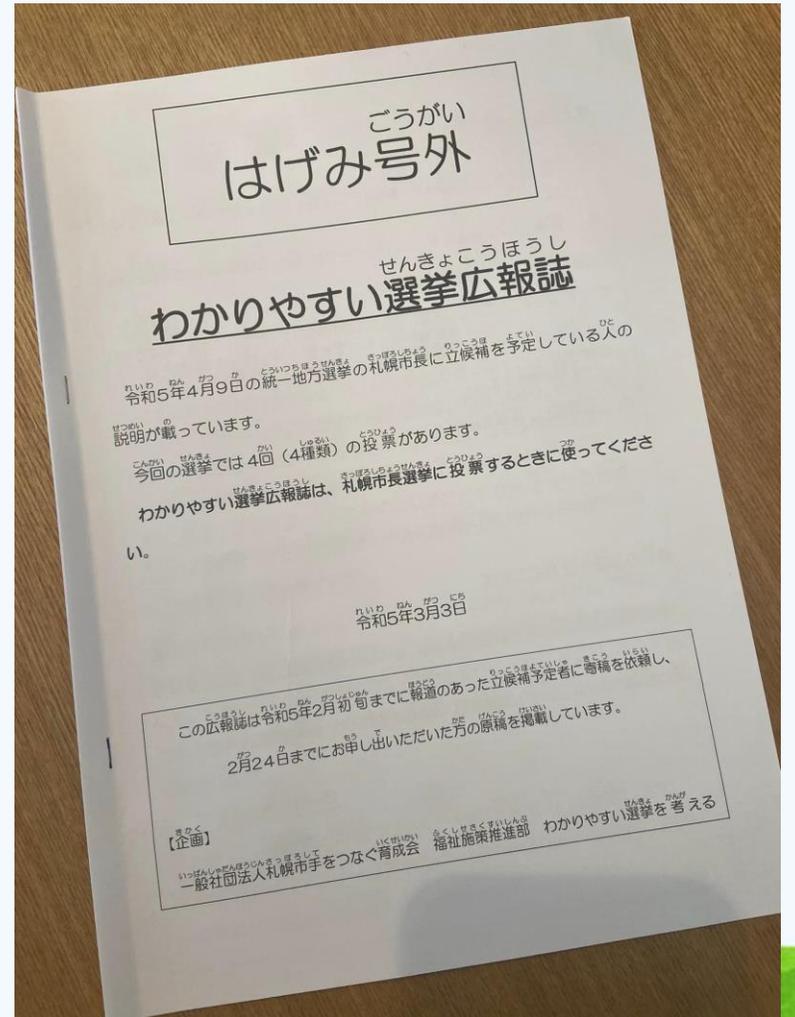
「わかりやすい広報誌」を作成することに！

⇒同年2月上旬に2人の市長選候補者を訪問し、原稿依頼

■わかりやすい選挙広報誌はこんな感じ

- ・ 広報誌「はげみ」号外として発行
- ・ 使い方の解説の後に、候補者2名の原稿と札幌育成会で作った「選挙に行こう！」という文書を添えた4枚仕立ての冊子が完成！

⇒昨年3月上旬「選挙支援カード」と共に
全会員へ配布した



■ NHK 「みんなの選挙」より

広報誌作成までの様子がNHKで放送されました。

この様子は是非動画視聴を！

みんなの選挙





育成会合同墓
「共に」ができるまで

■共同墓計画についての協議を開始

・平成27年秋

理事会で「会員及びその家族である知的障がい者の慰霊及び葬送等の支援に関する事業」
を新しい事業として取り組むことが検討

■平成30年度通常総会にて

- ・定款に明記することと、真駒内滝野霊園に
合同墓建立を提案し、承認される

■方針の変更

- ・正会員に向けて2回アンケートを実施
- ⇒希望者は全体の5%程と判明、育成会からの持ち出しをせず、受益者負担で建立すること
- ⇒育成会が建立を目指す合同墓はお墓の建立のみ
親なき後のシステムの構築は行わない

■8年がかりでようやく完成！！

- ・6月23日北海道新聞朝刊に
掲載されたら・・・
⇒10人以上から問い合わせが！



■7月23日(日)お披露目会を開催





育成会が抱える課題

■①障がい者従業員の高齢化

- ・従業員61名の平均年齢は40歳以上、福祉サービスを使わないまま50代に突入する人も
⇒保護者も高齢のため、育成会が主導して
相談室と繋ぐケースが増加中・・・

■②会員の減少

・2013年1,409人

⇒ 2024年10月31日現在 963人

■会員増に向けたプロジェクト

- ・特別支援学級のある札幌市内小・中学校へ
「育成会紹介チラシ」と「おしゃべりサロン案内」を送付
- ・A4サイズの育成会紹介ポスターを制作
- ・HP情報をLINE@にていち早く紹介

あとから来る者の為に

あとからくる者のために
苦勞をするのだ
我慢をするのだ
田を耕し
種を用意しておくのだ

あとからくる者のために
しんみんよお前は
詩を書いておくのだ

あとからくる者のために
山を川を海を
きれいにしておくのだ

あああとからくる者のために
みなそれぞれの力を傾けるのだ

あとからあとから続いてくる
あの可愛い者たちのために
未来を受け継ぐ者たちのためにみな
夫々自分で出来る何かをしてゆくのだ



ご清聴
ありがとうございました

